

令和6年度 菊川水防連絡会委員会・天竜川下流水防連絡会委員会

～関係機関とWEBを併用して実施～

【開催目的】

水害を警戒・防御し、及びこれによる被害を軽減することにより、公共の安全を保持するため、「菊川水防連絡会委員会」および「天竜川下流水防連絡会委員会」を毎年開催しています。令和6年度は、国、県、市村、関係団体(18機関)とWEBを併用して会議を開催しました。

【開催概要】

日 時: 令和6年4月18日(木) 13:30~14:30

会 場: 浜松河川国道事務所 2階 会議室 (WEB会議併用)

参加機関: 下記参照

議事内容: 1. 規約の改正について

2. 令和5年度 会務及び事業報告について

3. 令和6年度 会務及び事業計画(案)について

4. 情報共有

① 令和5年度の出水概要について

② 菊川・天竜川の水防について

③ 天竜川下流・菊川 流域一体型タイムラインについて

④ 「氾濫が発生したもよう」情報の発信について
⑤ 令和6年度 洪水対応演習の実施について
⑥ 令和6年度 重要水防箇所合同巡回の実施について
⑦ 国・県から地方自治体へのリエゾン担当者の顔合わせと
TEC-FORCEによる支援について

5. その他情報共有

・ワンコインセンサー実証実験について (磐田市)

・令和6年度静岡県水防計画書について (静岡県河川砂防局)

令和6年4月18日会議状況

Web会議の様子

会場の様子



【参加機関: 18機関】

自治体関係:

(市町村)浜松市、磐田市、掛川市、
菊川市

(静岡県)危機管理部、交通基盤部、
西部地域局、袋井土木事務所、
浜松土木事務所

(愛知県)建設局

国関係:

国土交通省浜松河川国道事務所

関係団体:

気象庁静岡地方気象台、
電源開発株式会社中部支店、
河川情報センター名古屋センター、
静岡県警察本部、愛知県警察本部、
中部管区警察局、
陸上自衛隊第34普通科連隊

令和6年度 菊川水防連絡会委員会・天竜川下流水防連絡会委員会

～関係機関とWEBを併用して実施～

《議事概要》

1. 規約の改正について

- ・【事務局】菊川水防連絡会規約、天竜川下流水防連絡会規約の変更、訂正について報告した。
<質疑>特になし。

④「氾濫が発生したもよう」情報の発信について

- ・【事務局】地域住民に迅速に氾濫情報を伝えるための「氾濫が発生したもよう」情報について、発信条件や留意点を説明した。
<質疑>特になし。

2. 令和5年度 会務及び事業報告について

- ・【事務局】令和5年度の会務(水防連絡会)および事業(洪水対応演習、合同巡視)について報告した。
<質疑>特になし。

⑤令和6年度 洪水対応演習の実施について

- ・【事務局】令和6年度の洪水対応演習の実施要領を説明し、演習内容が固まり次第水防連絡会委員へ共有することを説明した。
<質疑>特になし。

3. 令和6年度 会務及び事業計画(案)について

- ・【事務局】令和6年度の会務(水防連絡会)および事業(洪水対応演習、合同巡視)計画について説明した。
<質疑>特になし。

⑥令和6年度 重要水防箇所合同巡視の実施について

- ・【事務局】令和6年度の重要水防箇所合同巡視の実施要領を説明した。
<質疑>特になし

4. 情報共有

①令和5年度の出水概要について

- ・【事務局】令和5年6月2日台風2号による出水状況と、その対応および治水効果について説明した。
<質疑>特になし。

⑦国・県から地方自治体へのリエゾン担当者の顔合わせとTEC-FORCEによる支援について

- ・【事務局】国・県から地方自治体へのリエゾン派遣をより有効に実施するため、国・県と地方自治体の災害対応部局顔合わせの予定について説明した。また、リエゾン派遣およびTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の支援内容について説明した。
<質疑>特になし。

②菊川・天竜川の水防について

- ・【事務局】菊川・天竜川の水防に関して、流域の特徴、洪水時の水位予測手法、防災情報の入手先、予報・警報、重要水防箇所、越水危険箇所、浸水想定区域図について説明した。
<質疑>特になし。

5. その他情報共有

●ワンコインセンサー実証実験について

- ・【磐田市】国の実証実験として実施している、ワンコインセンサー活用状況を説明した。

●令和6年度静岡県水防計画書について

- ・【静岡県河川砂防局】令和6年度静岡県水防計画書(案)の追加、変更内容について説明した。
令和4年台風第15号・令和5年台風第2号を踏まえ、水防上重要かつ密接な関係を有するものとして応急復旧箇所を追加した。

③天竜川下流・菊川 流域一体型タイムラインについて

- ・【事務局】流域一体型タイムライン作成の経緯と、天竜川下流版および菊川版の流域一体型タイムライン(案)について説明した。
<質疑>特になし。